

小石川地方合同庁舎（仮称）建築計画説明会 主な質疑

質問	回答
アスベストの除去について、どのような対策をし、工事を行うのか。	建物全体を除去する際は、湿潤状態とし、粉塵が舞わないように工事を行う。
煙突は陰圧等にするなどの配慮をしてアスベスト除去を行うのか。	煙突部分の撤去をする際は、陰圧状態（※1）を作り外部へアスベストが漏れないような除去方法をとる。
アスベスト飛散はどのように確認するのか。	粉塵濃度測定でアスベストの濃度を常時確認しながら作業を行い、周囲に害がないように作業する計画である。
アスベストの含有箇所、撤去方法などの説明会を開催してほしい。	解体業者決定後、施工計画書を作成し、アスベストの撤去工法を示しながら、説明会等を通じて説明する。
アスベストの含有について、レベル1～3（※2、3）があるが、煙突のレベルはいくつか。	レベル1は該当がなく、煙突はレベル2である。外壁については、環境省に示されている工法を使えば、レベル3として撤去することが可能であり、そのような計画としている。
アスベスト除去工事中は洗濯物を外に干せず、浴室乾燥機を使用したいが、その分の電気代の補償はないのか。	アスベスト除去工事は、粉塵に配慮し工事を行う。なお、電気代等の補償は出来ない。
アスベストの撤去時期、建物の解体スケジュールなど、大きな音が出るタイミングは早めに教えてほしい。	解体業者決定後、実際の作業工程が分かり次第、周知する予定である。
園庭の工事期間はどれ程度か。	現在の予定では、整備は準備工事で1か月、整備工事で7か月の計8か月の予定である。（※4）
幼稚園の園児や先生に配慮した計画となっているのか。	計画段階で、幼稚園の園長を含めて検討しており、現場の声を反映した計画となっている。幼稚園のPTAの委員会、保護者会にて工事がある旨もお伝えしている。今回の説明内容については、後日幼稚園を通じてお伝えする。
計画建物内に地域開放される集会所等はあるのか。	計画建物内にはないが、園庭などで対応が可能か検討する。

計画建物の災害時の役割はどう計画されているか。	まず、在宅避難が原則となるが、在宅避難が難しい場合は、第三中学校が避難所として指定されている。大きな火災が発生した場合は、後樂園一帯が緊急避難場所として設定されているため、延焼を避けられる場所に避難することとなる。水害時は避難施設として、3階会議室や2階、3階の共有部分などの利用について、検討を進めている。
平面図2階の共用部分とは何か。	北側は建物の設備機械室で、真ん中の薄いグレーは廊下、濃いグレーは階段、トイレ、エレベーターの予定である。
解体工事の施工者が決まった時点や新築工事の施工者が決まった時点でも説明会を開催してほしい。	解体工事については、受注者が決まり次第、工事工程、施工計画の作成を行い、説明会の開催に向け調整し、連絡する。
室外機の排熱はどの方向か。	上部に向けて排熱する。
室外機は、どれくらいの高さに設置されるのか。	地上8mの高さに室外機を設置し、そこから高さ約6mの目隠し壁を設置する。
室外機置場は上部解放しているのか。	上部はすべて覆うことはできないが、目立たないよう配慮した設計を進めている。
室外機は24時間稼働するのか。	原則、8時半から17時の想定である。入居官署の業務時間により、稼働時間は前後する可能性がある。
設備置場の部分に窓はないか。	北側1階部分の一部に出入口窓ガラスはあるが、目線が通らないよう対応する。 また、機械室部分には、窓がない計画である。
南側の屋外階段は滑り台でないといけないのではないか。	基準では、階段・滑り台どちらを設置してもよいことになっている。4歳児、5歳児の保育室が2階にあり、幼稚園とも協議した結果、階段としている。

※1：陰圧とは、内部の圧力が外部の圧力より低い状態のこと。空気は圧力の高い方から低い方に流れるため、空気が外部に漏れないようにすることができる。

※2：レベル1が飛散性の高いもの、レベル2が1に比べると飛散性は下がるが、危険なもの、レベル3が取り外しを行えば、飛散のリスクが低いものである。

※3：ここで示すレベル1～3とは、アスベスト含有建材における一般的な分類を示す。

※4：整備工事の前に、解体は準備工事で2か月、解体工事で3か月の計5か月かかる。